

感染状況・医療提供体制の分析(9月22日公表)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③～⑤は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (9月15日公表)	現在の数値 (9月22日公表)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 <small>(注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)</small>	報告数	1466人	1356人	↓	レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要 定点当たり患者報告数は 16.14人 とやや減少。インフルエンザも増加し、新型コロナ、インフルエンザとも学級閉鎖など続く。 全国的にも岡山でも感染者数は慢性的に高止まりの状況 。体調不良時は外出しない、高齢者や基礎疾患のある方にはうつさないようにするといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用が必要。新型コロナワクチン秋接種も開始。特に、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方は、重症化を防ぐためにワクチン接種が推奨される。
		定点当たり数	17.45人	16.14人	↓	
		報告数に占める60歳以上の割合	20.5%	16.3%	↓	
	② 保健所別定点当たり患者報告数 <small>(注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)</small>	岡山市保健所	14.09人	13.45人	→	
		倉敷市保健所	23.44人	20.94人	↓	
		備前保健所	12.00人	13.67人	↑	
		備中保健所	28.33人	22.08人	↓	
		備北保健所	16.00人	20.17人	↑	
		真庭保健所	14.00人	8.67人	↓	
		美作保健所	12.30人	10.80人	↓	
医療提供体制	③ 入院患者数	369人	301人	↓	レベル3. 体制逼迫状態は緩和の兆候があると思われる	
	④ 確保病床における入院割合	37.4%	32.6%	↓	県全体としては医療提供体制は安定しているが、確保病床以外への入院や、新型コロナ以外での医療ひっ迫が見られており、一般医療を制限している状況が続いている。	
	⑤ 重症者数	3人	6人	↑		